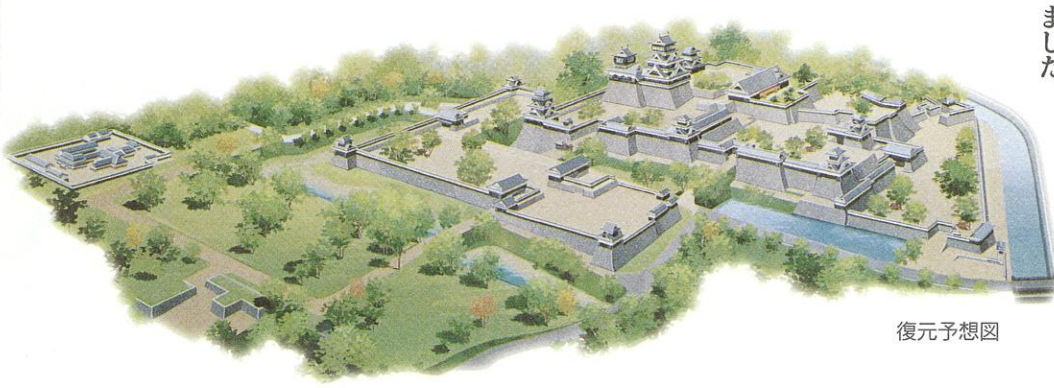


地域の動き

シリーズ 11

熊本市 築城時の勇姿再び

加藤清正によって築城された熊本城。熊本市は今、この歴史と文化の象徴・熊本城の本格的な復元整備への取り組みを始めました。



復元予想図



城したといわれ、武者返しと呼ばれる美しい曲線の石垣を持つなど大阪城、名古屋城と並び日本三名城のひとつに数えられています。築城当時は、一〇〇ヘクタール現在九十八ヘクタールを超え、周囲は九キロメートル(現在五・三キロメートル)にも及び、大小二つの天守閣をはじめ、櫓四十九、櫓門十八、城門二十九を持つ様はまさに豪壮雄大なものであったといわれています。

熊本城復元整備

熊本城は、貴重な歴史文化遺産として、熊本市最大の観光資源として、また、県民の皆さんの心のオアシスとして親しまれています。そこで、熊本市では熊本城を復元整備することで都市に潤いと風格を与え、熊本のシンボルとしてより一層の心のゆとりを提供できる施設となるよう、熊本城の本格的な復元整備への取り組みを始めました。

具体的な整備計画として、まずは築城四百年にあたる平成十九年を目標に天守閣への通路(閣御門)の上に建てられていた清正公の御殿・本丸御殿の復元や、くまもとお城まつりのメイン会場となっている笹園周辺の建造物の復元を

熊本城 難攻不落の城として有名な熊本城は、加藤清正が慶長六年(一六〇二)から七年の歳月をかけて築



熊本城



本丸御殿復元予想図

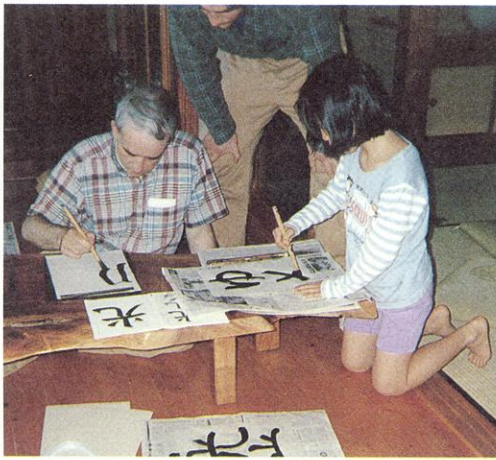
予定しています。また、復元にあたっては今年四月に「熊本城復元整備基金」を創設し、広く寄附を募っています。以来、国内はもとより、遠く海外からも多くの皆さんから温かい寄附が寄せられています。皆さんも「一口城主」として、名前を残してみませんか。詳しくは、熊本市企画調整課(☎096・328・2111)へ。

くまもと物語 9

国際交流

世界とともに歩む熊本を目指して。身近な国際交流の輪を広げよう。キャンパスを歩く海外からの留学生、ショッピングを楽しむ旅行者。このところ、身近なところでも外国の人の姿を見かける機会が多くなっています。

現在、熊本市内に住む外国人は約五千二百人(外国人登録者数)、そして年間約三十万人の観光客が海外から熊本を訪れています。また、県内から海外に出かける人も年間約十三万人に上っており、外国は、私たちにとって昔ほど遠い存在ではなくなっています。



近代熊本づくりに活躍した外国人たち 明治維新まで、外国との交流は一部を除いて長い間途絶えていました。明治になり、西欧文化や技術が急速に広まりましたが、その役割を担ったのが外国人教師や技術者たちです。熊本にも、旧制五高で教鞭をとったラファディオ・ハーンや熊本洋学校のジェーンズ(通称「古城医学校」)のマンスフェルトをはじめ、何人かの外国人指導者が訪れました。彼らは、技術指導、普及はもちろん、西欧の思想や文化を熊本に伝えるうえで大きな足跡を残しています。

ブラジル移住のさきがけは、熊本県出身者たち

一方、明治の半ば以降になると、県民の中から海外に進出する人たちが出てきました。その代表例が海外移住です。熊本県は、広島県、沖縄県について海外移民数が多く、明治から現在までに北米、中南米、ハワイなど七万人以上が渡航。特にブラジルには多くの県民が移住しており、ブラジルへの日本人移民の第一号は、明治四十一年に笠戸丸で出航した本県出身者たちでした。移民の方々の多くは、現地で熊本県人会をつくっており、その数は五十以上。現在では中心メ



ラファディオ・ハーン(小泉八雲)

国際交流の主役は、一人ひとり

時が経ち、国際化の進展の中で、行政や民間レベルでの海外との交流は年々盛んになっています。県では、中国広西壮族自治区、米国モンタナ州、韓国忠清南道と友好あるいは姉妹提携を結び、交流を進める一方で、留学生への支援・情報の提供等、幅広い国際交流、協力を進めています。また国際青少年音楽フェスティバルや保健医療における国際協力を行う(財)国際保健医療センターなど、全国的にみても特色ある取り組みが行われています。

私たち一人ひとりが、まず、私たちの住む熊本をよく知ること。そして外国の人々の考え方や文化を知ること。それが国際交流の第一歩です。世界とともに歩む熊本。それは、一人ひとりの身近な国際交流から始まります。

県広聴制度のご案内

知事への直行便がさらに身近に！ 新たに、県内約百カ所の特定郵便局にも専用の封筒と便せんを設置しました。この他に、県の出先機関、市町村、公立病院、郵便局、銀行、農協などに置いてあります。提出された直行便は全て知事が目を通します。皆さんの県政に対する自由な提案、ご意見をお待ちしています。

県政モニター

県民の中から二百名の方にモニターになっていただき、継続的に県政に対するご意見、ご提案をお伺いしています。

県民相談

県政に関するさまざまな相談をお受けしています。電話による相談も受け付けています。受付時間 月曜～金曜 九時～二時(三時～六時) ☎096・383・1111(内線3142・3143)

県広報のご案内

「彩り」(熊本の豊かさを伝えたい。A4判28ページ) 年間四回(四月・七月・十月・一月)発行 ●愛読者募集中です。送料として千八百円(四回分の郵便切手を同封のうえ左記まで先へお申し込みください。)

テレビ

RKK「月刊くまもと情報」 毎月一回再放送あり TKU「くまもと探検隊」 毎週土曜日(二時五十分～三時) KKT「クロスアップ熊本」 年間一〇本(三〇分) KAB「くまもとウィークリー」 毎週月曜日(一九時五十分～二〇時) NHK文字放送「熊本県ガイド」 毎日(五時～二十四時)

ラジオ

RKK 「ふれあいくまもと」 毎週月曜日～土曜日(一〇時五十分～一〇時三十分) FMK 「県庁ダイアリー」 毎週月曜日～金曜日(七時三十分～七時三十分) CITY 「CASUAL WALKING」 毎週土曜日(二時五十分～三時)

ホームページ 県政に関する情報は、インターネットでも提供しています。 <http://www.kings.co.jp/kumamoto.pref/> 「熊本県庁ホームページ」に関するお問い合わせは、熊本県企画調整課まで。 読者の方々のご意見をお待ちしています。 あて先 〒862-8570 熊本県広報課「県からのたより」係 ※県庁の住所は不要です。 ☎096-385-2096 FAX096-386-2040